



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月10日  
東

上場会社名 株式会社プラコー 上場取引所  
 コード番号 6347 URL <http://www.placo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒澤 秀男  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務・経理部部长 (氏名) 山崎 正彦 (TEL) 048-798-0222  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	2,046	△20.4	16	△69.8	6	△92.8	1	△98.0
27年3月期第3四半期	2,571	47.6	56	397.6	89	—	80	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第3四半期	0.06		—					
27年3月期第3四半期	2.98		—					

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	2,742	—	399	—	14.6	—
27年3月期	2,343	—	394	—	16.8	—

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 399百万円 27年3月期 394百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,387	△2.2	152	264.3	128	78.7	109	108.4	4.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページの「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年3月期3Q	27,152,585株	27年3月期	27,152,585株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	52,356株	27年3月期	52,135株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期3Q	27,100,326株	27年3月期3Q	27,101,985株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	6
5. 補足情報 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や雇用情勢の改善など景気は緩やかな回復基調にあるものの、原油価格の低下や中国経済の不透明感の強まりなど先行き不透明な状況は続いております。

当社の関係するプラスチック加工業界は、昨年後半から続く原油価格低下の影響による企業収益向上により、設備投資に積極的な動きがある一方で、収益改善に至らず設備投資に前向きに進めない状況も存在します。

このような状況下、当社におきましては、営業面では、インフレーション成形機事業において、多層機や引取機・巻取機の受注が順調に推移しました。

ブロー成形機事業においては、自動車部品メーカーより「小型樹脂タンク用ブロー成形機」の量産受注が具体化したほか、補助金制度を利用した「省エネルギーブロー成形機」や自動車部品生産用大型ブロー成形機等の受注をいただきました。

また、生産面では、海外外注生産の改善活動を推進させるとともに、国内仕入先と協力して生産性や品質の向上に努めました。また、一部の大型機種種の品質に万全を期するための試作費用が増加しましたが、コストが徐々に改善している状況であります。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は、予定をしていた大型機械の検収が第4四半期会計期間となったため、当初の予定より減少し20億4千6百万円となり、前年同四半期と比べ5億2千4百万円減少（前年同四半期比20.4%減）いたしました。利益面につきましても、大型機械の売上が第4四半期会計期間になったことに加え、前年同四半期には営業外収益に保険金収入4千4百万円の計上があったこともあり、前年同四半期と比べ大幅に減少し、営業利益1千6百万円（前年同四半期は営業利益5千6百万円）、経常利益6百万円（前年同四半期は経常利益8千9百万円）、四半期純利益1百万円（前年同四半期は四半期純利益8千万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

流動資産は、前事業年度末に比べて20.7%増加し、2,000百万円となりました。これは主に、現金及び預金が344百万円減少し、受取手形及び売掛金が157百万円、棚卸資産が518百万円それぞれ増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて8.1%増加し、741百万円となりました。これは主に、有形固定資産が新規取得などにより19百万円、投資等が投資有価証券の新規取得などにより32百万円それぞれ増加したことなどによります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて17.0%増加し、2,742百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて26.6%増加し、1,693百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が40百万円、短期借入金が8百万円それぞれ減少し、前受金が424百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて6.3%増加し、649百万円となりました。これは主に、長期借入金が増加したことなどによります。

この結果、負債は前事業年度末に比べて20.2%増加し、2,343百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べて1.2%増加し、399百万円となりました。これは主に、第3四半期純利益1百万円計上したことなどによります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、平成27年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、今後の経営環境により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(原価差異の繰延処理)

従来、操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異については、四半期会計期間において繰延処理を採用していましたが、大型機械の受注の増加等による工期の長期化を主な要因として、年間を通じた操業度の平準化が図られ、四半期会計期間における原価差異の発生額の金額的重要性が乏しくなったことから、第1四半期会計期間より原価差異の繰延処理を行わず、原則的処理を採用することといたしました。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前四半期会計期間については遡及適用後の四半期財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期累計期間の、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は、それぞれ2,471千円減少しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	896,238	551,333
受取手形及び売掛金	446,471	604,397
たな卸資産	273,184	791,995
その他	41,041	52,901
貸倒引当金	△89	△485
流動資産合計	1,656,846	2,000,142
固定資産		
有形固定資産		
土地	486,501	486,501
その他(純額)	151,010	170,637
有形固定資産合計	637,511	657,138
無形固定資産		
	13,054	16,298
投資その他の資産		
その他	50,061	82,365
貸倒引当金	△14,201	△13,806
投資その他の資産合計	35,859	68,559
固定資産合計	686,426	741,995
資産合計	2,343,272	2,742,137
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	655,356	615,006
短期借入金	285,054	276,248
前受金	283,723	708,249
未払法人税等	7,610	2,909
引当金	35,868	26,259
その他	70,257	65,170
流動負債合計	1,337,870	1,693,843
固定負債		
長期借入金	487,032	527,511
引当金	23,407	25,684
その他	100,516	96,013
固定負債合計	610,955	649,208
負債合計	1,948,825	2,343,051
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,332,945	1,332,945
資本剰余金	131,387	131,387
利益剰余金	△1,193,611	△1,191,997
自己株式	△5,545	△5,572
株主資本合計	265,175	266,763
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,049	△1,997
土地再評価差額金	134,320	134,320
評価・換算差額等合計	129,270	132,322
純資産合計	394,446	399,086
負債純資産合計	2,343,272	2,742,137

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	2,571,176	2,046,701
売上原価	2,037,785	1,564,179
売上総利益	533,390	482,521
販売費及び一般管理費	477,343	465,597
営業利益	56,047	16,923
営業外収益		
受取利息	1,034	44
物品売却益	685	529
受取保険料	44,044	—
為替差益	—	1,468
その他	3,044	2,942
営業外収益合計	48,809	4,985
営業外費用		
支払利息	14,032	14,393
その他	1,259	1,094
営業外費用合計	15,291	15,487
経常利益	89,565	6,421
特別損失		
固定資産除却損	207	271
特別損失合計	207	271
税引前四半期純利益	89,357	6,150
法人税、住民税及び事業税	8,731	4,536
法人税等合計	8,731	4,536
四半期純利益	80,626	1,613

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社はプラスチック成形機事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 5. 補足情報

### (1) 生産、受注及び販売の状況

#### 1 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	1,223,018	△27.7
ブロー成形機事業	854,679	19.7
リサイクル装置事業	48,995	△34.8
合 計	2,126,693	△14.3

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 受注実績

当第3四半期累計期間における受注実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	1,159,435	△5.5	837,769	6.1
ブロー成形機事業	1,039,621	1.5	972,600	41.8
リサイクル装置事業	38,045	△38.5	32,810	59.7
合 計	2,237,101	△3.3	1,843,179	23.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### 3 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	872,308	△39.8
ブロー成形機事業	760,041	10.4
リサイクル装置事業	48,995	△34.8
メンテナンス事業	365,355	1.6
合 計	2,046,701	△20.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。